



Crafton Biotechnology 株式会社 チーフケミストリーオフィサーの就任について

名古屋、日本 | 2025 年 8 月 1 日

名古屋に拠点を置くバイオテクノロジー企業である Crafton Biotechnology 株式会社(以下、クラフトン)は、梅本忠士氏を新たにチーフケミストリーオフィサー(CCO)に任命したことを発表しました。梅本氏は、クラフトンの技術の社会実装において研究開発をリードする立場として、同社の先駆的な基盤技術である PureCap®および化学合成 mRNA プラットフォーム、並びに創薬パイプラインの構築を推進します。

梅本氏は、国内バイオベンチャーやグローバルファーマの研究開発部門で核酸を基盤とした医薬品開発、ペプチド創薬においてリーダーシップを発揮してきました。これまでに人工核酸によるアンチセンス医薬品の研究開発を行う Luxna Biotech 社では、CSO として研究開発部門をリードし、それ以前には、武田薬品社において、核酸医薬品、ペプチド医薬品の研究に従事しており、核酸のケミストリーおよび創薬に関する幅広い知識と経験を有しています。梅本氏の専門知識、経験はクラフトンの技術の社会実装に大きく貢献すると期待しています。

梅本氏は、「クラフトンの素晴らしいメンバーと働けることを光栄に思います。クラフトンの有する基盤技術は、従来の mRNA 医薬が得意としたワクチンのみならず、幅広い疾患に有用であり、アンメット・メディカル・ニーズを満たすことができると考えています。1 日でも早くこの技術を用いた医薬品が患者さんにお届くよう尽力いたします。」と述べています。

また、渡辺勇人代表取締役兼 CEO は、「このたび梅本氏を当社の経営幹部として迎えることができ、大変嬉しく思います。梅本氏の参画により、当社の戦略と今後の成長がさらに確かなものとなり、新たなステージへと導いてくれることを期待しています。」とコメントしました。